



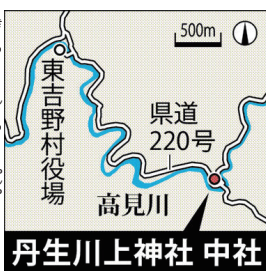
高見川沿いに鎮座する丹生川上神社 中社。鳥居越しに
拝殿が見える―東吉野村小で



(住所) 東吉野村小968
 (交通) 近鉄榛原駅からバスで東吉野村役場停留所まで約45分。同役場からコミュニティ
 (拜観) 境内自由、駐車場有り
 (電話) 0746・42・0032
 イバスで蟻通停留所まで約10分(平日のみ)

正式名は「丹生川上神社」ですが、同神社の名を冠した上社(川上村)や下社(下市町)と区別するため、通称「中社」と呼ばれています。大正時代に「官幣大社丹生川上神社」に改称する前は「蟻通神社」という名称でした。

高見川沿いに鎮座し、



祈雨・止雨の社として
 崇敬を受けています。主

丹生川上神社 中社 (東吉野村)

祭神の罔象女神坐像(鎌倉時代)など20体(平安・鎌倉時代)が2022年、重文に指定されました。像を祭るのが流造で

な様子がかがえます。本殿前の石灯籠は中国・宋人の名工、伊行吉の1281(弘長4)年の制作で、重文に指定されており、東大寺法華堂の灯籠と並ぶ名作です。当社は、763(天平宝字7)年に朝廷の求めで祈雨神事を初めて催し、奈良・室町時代に計96回

の神事が行なわれたと伝わります。雨乞いには黒馬、雨止めには白馬か赤馬が献上され、神社に馬を奉ったことが、絵馬の起源とされています。毎年10月には、当社最大の祭典「小川祭り」が行われます。村内から8台の大鼓台が境内を所狭しと競い合い、「喧嘩祭り」とも呼ばれ、多くの観光客でにぎわいます。(奈良まほろばソムリエの会会員 箕輪成記)

雨乞い、雨止めの神

(奈良まほろばソムリエの会会員 箕輪成記)